



8月は、「差別をなくす運動月間」です。

1965(昭和40)年8月11日、同和問題は憲法で保障された基本的人権に関する重要な社会問題であり、「その早急な解決こそ国の責務であり、同時に国民的課題である」との認識を示した「同和对策審議会答申」が出されました。このことから、大分県では8月を「差別をなくす運動月間」と定めており、期間中は県内各地で人権啓発行事が行われます。

こころをつなぐ まちづくり

人権シリーズ vol.146

2016(平成28)年12月16日には、「部落差別の解消の推進に関する法律」(部落差別解消法)が施行され、部落差別が未だに存在し、インターネット等の普及によりその状況に変化が生じている事から、部落差別の解消することの必要性に対する理解を深め、部落差別のない社会を実現するために、国や地方の責務として教育・啓発活動の推進や相談体制の充実、実態調査等が定められました。部落差別の問題(同和問題)をはじめとするあらゆる人権問題の早期解決を目指すとともに、一人ひとりが、さまざまな人権問題に関する理解を深めるきっかけにしてください。期間中次の行事を行います。市民の皆様の参加をお待ちしています。

1. 「第27回差別をなくす市の里のつどい」

- ◆日時 8月3日(金) 午後2時~4時
- ◆場所 アストくにさき アストホール
- ◆内容 講演会 講師 原 ミナ汰さん(NPO法人 共生社会をつくるセクシタル・マイノリティ支援全国ネットワーク代表理事) 演題 人と違うと生きづらい? 多様な性、多様な暮らしを受けとめるキャッチャーの心得
- ※問合先 国東市人権・同和对策課 (☎0978-72-0354)



原 ミナ汰さんの自己プロフィールより 1956(昭和31)年生まれ。性自認は「Xジェンダー」。現在共生ネットの他、LGBT法連合会共同代表、「よりよいホットライン」アドバイザー。文京区男女協働参画推進会議審議員。「女の子」として生を受けたが、自分にその感覚はなく、どちらかといえば男の子かなと感じながら、男女の境界辺りに生息。

2008年に立ち上げた「共生ネット」

ト」で、LGBTQの人々やその家族への相談・支援を本格化。「よりよいホットライン」セクマイ回線統括「ディネーター」を努め、国・自治体職員、教員、援助職者向けに、全国500か所以上で「性の多様性」研修を実施中。渋谷、世田谷、文京を始めとする東京23区、国立市、多摩市、川崎市、千葉市、埼玉県等のLGBTQ相談・居場所・啓発事業に協力している。

2. 第12回国東市隣保館まつり

- ◆日時 8月25日(土) 午前10時~午後3時
- ◆場所 国東市隣保館(武蔵町古市)
- ◆内容 ①講演会 講師 安東鈴代さん(大分県人権問題研修講師) 演題 心の栄華
- ②隣保館教室の発表・展示、人権相談、出店、バザー、お茶席など
- ※問合先 国東市隣保館 (☎0978-68-1722)

第11回国東市隣保館まつり「つどいの川柳」 課題《笑顔》応募作品 七夕を囲んで集う笑顔の輪 聞く人と 安岐町 安達 フジ子 唄うマイクでスマイルに 武蔵町 古城 政利

市長室から いこぢから

市長日記

86

『薫風の下の七島イの植え付け』

国東市長 三河 明史



5月12日は、早朝から空は青く高く、薫風が頬をくすぐる、文字通りの心地よい五月晴れです。私は、その青空の下、安岐町朝来の諸田山神社前の田んぼにいます。今日は、数年前から、国東の特産である七島イの生産を始めたMさんの田んぼでの植え付けがあるのです。私が着いたときは、既に田んぼは整備され、エブリで最後の土のならしをしていました。七島イの苗は、一定の束にされ、田んぼの端に沢山置いてあります。準備万端のようです。

Mさんは、七島イを多くの人に知ってもらうため、植え付けの公募をしたのです。国東市内はもとより、市外県外から40名ほどの人が集まりました。子どもさんもいます。遠くは、福岡市からJR九州の特別列車「七つ星」のクルーの人達も数名参加されています。私も「田植え足袋」を新調し、張り切っています。さて、七島イの植え付けなんて何年ぶりでしょうか。およそ五十年以上も昔に植えて以来でしょうね。

説明を受けるのもそこそこに、地元のW元校長先生と組んで、田植え用の竿を操りながら植え始めました。昔、七島イを植えたことのある人は、今日の参加者の中でもそう多くはないでしょう。「みんな見ていなさい」とばかりに、恥ずかししながら心の高ぶりを覚えるほどの勢いです。植え始めると少しずつ昔のことが思い出されてきます。昭和30年代、当時は国東でも多くの農家が七島イを栽培していました。私の家でも毎年この時期になると、一家総出で植付作業を行っていたのですが、当時のお年寄りの人は、年季でしょうか、すべての作業が綺麗で、早いのです。子どもの頃の私はと言え、仕事が嫌でしようがないということも加えて、雑なんでしょう。

外からの出来栄を気にする母親が、私が植えた苗を後で綺麗に修正するのです。私の家の隣に、私の祖母よりも古いおばあちゃんがいる、私の家の農作業をよく手伝ってくれていました。かなり高齢の人でしたが、稲の田植えも七島イの植え付けも実に手早く、しかも綺麗なのです。

並んで植えるのですが、私がいくら頑張っても追いつかないのです。手練の技なのでしょう。私が、「腰が痛い」と伸びをしようと「子どもに腰があるのか」と笑うのです。

あれから五十余年。私も、あのおばあちゃん位の年になっているのでしょうか。五十数年ぶりの七島イの植え付けは懐かしい、心地よい体験でした。 ※エブリ：柄振。田の表面を平らにする為のT字状の農耕具。

平成30年度 国東市成人式

平成30年度の国東市成人式を開催します。

- 日時 8月15日(水) 午前10時~
 - 場所 アストくにさき アストホール
 - 対象者 平成10年4月2日~平成11年4月1日生まれの方
 - ①国東市に住民票がある方(6月1日時点)
 - ②国東市内の中学校を卒業した方(現在、市外に住んでいる人も含まれます)
- ※対象者にはハガキにて7月中旬までにご案内を差し上げます。



【問合先】社会教育課 ☎0978-72-2121